

校長室だより No. 8

校長：沓澤 聖

有 終 の 美

あと数日で令和5年度の学校生活が終わります。

今年度も子供たちの笑顔や頑張りがたくさん見られました。数々の素敵な思い出を胸に有終の美を飾ることができそうです。保護者の皆様や地域の皆様の御理解と御協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

4月から社会人となる高等部3年生、高等部に進学する中学部3年生、中学部に進学する小学部6年生、そして一つ上の学年に進級する子供たち全員が、この一年間の成長を胸に、自信をもって新しいステージに向かってほしいと願っています。御家庭でも一年間のお子様の頑張りを価値付け、励ましていただければありがたく存じます。

今年度の学校への御協力、本当にありがとうございました。

令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします。



<令和6年度の教育課程について>

今般、教員の働き方については全国的な課題とされており、超過勤務による疲弊により指導の質が低下したり、教員志望の若者が少なくなったりするなど、様々な問題が指摘されています。そのことから、教員が授業の準備や校務分掌の業務を行う時間をしっかり確保し、余裕をもって子供たちの指導にあたることができるよう、特別支援学校に限らず全ての学校で教育課程の見直しが図られています。そのような中、楯岡特別支援学校の本校・分校でも、それぞれに合った形で次年度の教育課程を見直すことにしました。

具体的には、授業時数の削減を行います。ただ、授業時数が減るといっても国が定めた標準時数を下回ることではなく、必要な学習ができなくなることはありません。逆に今まで多すぎた分をカットし、十分な準備のもと焦点化して指導することで、これまで以上に子供たちの力を伸ばすことができると考えています。

授業時数の削減に伴って短縮日課が増えることになります。詳細は別途配付の「令和6年度年間行事予定(案)」を御確認ください。次年度にも改めて説明しますが、その背景や目的を御理解いただき、子供たちのよりよい成長に向けて御協力くださいますようお願いいたします。